

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 3 区分
【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2000-109668 (P2000-109668A)
【公開日】平成 12 年 4 月 18 日 (2000.4.18)
【出願番号】特願 平 10-287878
【国際特許分類第 7 版】

C 0 8 L 69/00
/(C 0 8 L 69/00
C 0 8 L 83:04
C 0 8 L 27:18)

【 F I 】
C 0 8 L 69/00
C 0 8 L 69/00
C 0 8 L 83:04
C 0 8 L 27:18

【手続補正書】
【提出日】平成 17 年 9 月 8 日 (2005.9.8)

【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】

【請求項 1】 (A) フェノール性水酸基末端を 0.05 重量%以上含有する重量平均分子量が 15,000 ~ 25,000 のポリカーボネート 100 重量部、(B) オルガノポリシロキサン 1 ~ 20 重量部、(C) ポリテトラフルオロエチレン 0.1 ~ 0.5 重量部とからなる難燃性ポリカーボネート組成物。

【請求項 2】 該フェノール性水酸基末端含有量が 0.07 ~ 0.30 重量%であり、重量平均分子量が 18,000 ~ 23,500 のポリカーボネートであることを特徴とする請求項 1 記載の難燃性ポリカーボネート組成物。

【請求項 3】 該ポリカーボネートが界面重合法 (ホスゲン法) またはエステル交換法 (溶融法) で製造されたポリカーボネートであることを特徴とする請求項 1 および 2 記載の難燃性ポリカーボネート組成物。

【請求項 4】 該オルガノポリシロキサン配合量が 3 ~ 10 重量部あることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれかに記載の難燃性ポリカーボネート組成物。